

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 「根治的膀胱全摘除術における周術期合併症の多施設後ろ向き観察研究」
－術後水腎症・腎機能・腸閉塞の治療、術後再発、患者予後に関する追加調査－

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 安部 崇重 泌尿器科・准教授

[共同研究機関]

北海道大学病院泌尿器科 安部 崇重
市立札幌病院 田中 博
北海道がんセンター 原林 透
札幌北辰病院 松田 博幸
KKR札幌医療センター 土屋 邦彦
KKR斗南病院 町野 倫太郎
手稲溪仁会病院 柏木 明
仁楡会病院 松村 欣也
北海道泌尿器科記念病院 飴田 要
江別市立病院 佐藤 聡秋
小樽市立病院 山下 登
岩見沢市立病院 片野 英典
苫小牧市立病院 竹内 一郎
市立旭川病院 安住 誠
旭川厚生病院 森 達也
帯広厚生病院 佐澤 陽
函館中央病院 鈴木 英孝
市立釧路病院 森田 研
釧路労災病院 佐々木 芳浩
名寄市立病院 山下 孝弘

[研究の目的] 膀胱全摘除術を行った患者さんの膀胱全摘後の水腎症、腸閉塞の発症やその治療方法、がん再発後の治療方法や生存率などについて調べることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

北海道大学病院泌尿器科及び共同研究機関にて、2011年1月～2017年12月までの間に根治的膀胱全摘除術を行った患者さんを対象とします。

○利用するカルテ情報

- ①術前の身長、体重、術前術後の血液生化学結果
- ②術前の水腎症の有無、術後の水腎症出現の有無、水腎症の出現契機とその原因、水腎症に対する治療方法と転帰情報
- ③術後腸閉塞の発症有無、腸閉塞に対する治療の有無と治療方法、転帰情報
- ④腸閉塞発症者の経口摂取再開日
- ⑤術後補助化学療法の有無、その内容
- ⑥術後再発の有無、再発部位と治療方法
- ⑦最終転帰情報

上記カルテ情報については、患者さん個人を特定できる情報は削除され研究事務局の北海道大学病院泌尿器科医局に集約して解析を行います。

[研究実施期間]

実施許可日～**2026**年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科

担当医師 安部 崇重

電話 011-716-1161

FAX 011-706-7853